

もっと言うと、 $\int dt f(t) = 0$  でなくても任意の関数  $f$  に対して、

$$\Phi[\chi] = \exp[(i/\hbar) \alpha \int dt p \chi(t)]$$

なる  $\Phi$  と

$$\Phi[\chi] = \exp\{(i/\hbar) \alpha \int dt [p \chi(t) - f(t)]\}$$

なる  $\Phi$  は位相因子のみ異なるから同一の量子歴史を表す、と考へても良いのではないか、という疑問が生じる。

とすれば、上記の  $\Phi$  は新文法版シュレディンガー方程式の解でありかつ解でない、という事に成りはしないか、という問題や、既存の量子力学の波動関数の時間への陽な依存性によって何らかの物理的な状況が表されている場合私の新文法ではそれを表現する術が無い、という事に成る、という問題が生じる。

はたして、そうなのだろうか？

必ずしもそうとは限らない、という事に私は気付いた。